

## 第7回京都山城便教会

平成28年5月22日（日）

当日の朝、メールをチェックすると大谷先生から、下記のようなメールが届いていました。

**小笹先生**

**お世話になります。**

**明日の京都山城便教会に参加できず申し訳ありません。**

**音川先生と熊本でスコップで砂利を運んでいます。（一部抜粋）**

熊本で活動されているお二人の志の高さに触れるとともに、遠くから見守っていただいている温かさを感じながら、家を出発いたしました。

今回のテーマは「当たり前とは」。まず参加者に聞きました。

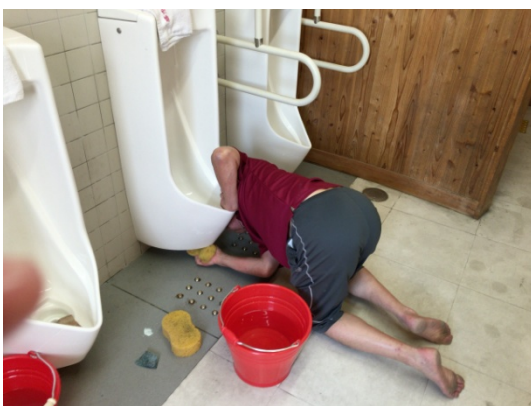
- ・家族が当たり前についていてくれて、もし家族がいなければ自分は耐えられないと思う。家族の支えがあるから頑張れる。でもその気持ちはきちんと伝えていないかもしれない。
- ・体が健康であることは本当にありがたい。ひざを痛めたときにいつも当たり前に行っていた行動ができなくなってしまい、つくづく健康であるありがたみを感じた。

それぞれに、実感の伴うお話をいただき、それから私も話をさせていただきました。

私は4月の異動により、現場から離れ、マネジメントをする立場へと変わりました。今までは生徒がいてくれるからこそ教師でいられたわけで、サラリーマンとなった今、そのありがたみを強く感じています。また教育現場を裏で支えてくれている人がこれほどまでいるのかということも知り、今まで好き放題させていただいたことに感謝の念を抱きつつ、今は見えないところで現場を支えようと頑張っていることを伝えました。

このような開会式の後に、本日のテーマ「当たり前とは」を抱きながら、トイレ掃除をスタートさせました。

今回の参加者は、トイレ掃除の熟練者ばかりなので、リーダーが引っ張るといよりは、個々それぞれで判断していただきながら、トイレ掃除を行っていただきました。



今回は3名での活動だったため、1人で3つの便器を磨いていただきました。熟練者だけでしたので、極力話を少なく実践を多くとりましたが、後の交流会では便器を終えていくごとに、前回の反省を生かして取り組むことができ、どうすればより丁寧にきれいに速く磨けるかをすごく考えることができたという声も聴くことができました。人数が少ないには少ないりのメリットもあると改めて気付かせていただきました。

毎回ながら、声は必要なものだけで、後は無言。便器を磨く音やタオルを絞る音だけが室内に響き、その音が空気まで磨いてくれる、そんな時間を今回も過ごさせていただきました。

トイレ掃除が終わった後は、石崎先生より鏡の磨き方講習をしていただきました。新聞紙と石けんを使って磨くと、鏡が見る見るうちにピカピカに磨かれていき、透明感が出てきました。右下の写真は、自撮りしようとしている自分を撮ったものではなく、鏡に映った自分を撮ったものです。鏡に映っているとは思えないきれいに驚いていました。



これで終わりということで、磨いたトイレを確認しにいったところ、大便器に少し汚れが残っており、それをきれいにして、水を流す。そうすると、大便器から水があふれだし、床はずぶ濡れ状態に。そういえばこの便器は「使用禁止」と書かれていたところ。すっかり忘れてレバーを押してしまいました。そんなことで、もう一度拭き上げをすることに。最後はおまけまでついた学び多き便教会でした。

終了後は、家内の作ったおにぎりのみそ汁をいただきながらの交流会。交流会では、次のような言葉が皆さんから出てきました。

・当たり前には2種類あると思う。悪い意味での当たり前と良い意味での当たり前。これぐらいしかできないと低い次元が当たり前になるとダメだと思うが、今日のトイレ掃除のように、このきれいさが当たり前になるようにしなければならぬし、それを維持するには続けるしかない。それを発信していくのが自分の役割だと感じた。

・大便器を磨いたのは久しぶりで、初めてトイレ掃除をしたのが、東北での活動の時。何か原点を思い出させてくれるトイレ掃除になった。また最後に使用禁止の大便器に水を流してしまい、皆さんに迷惑をかけたが、便器はきれいに磨かれたけど、故障は治っていない。磨いても治りはしない。つまり、子供たちの表面上の傷は治ったように見えていても、実は心の奥底では治りきっていないことがあるのではないかと思う。

こんな深い言葉が聞ける交流会となりました。今回、テーマにした「当たり前とは」。平野先生の言葉のように、当たり前のレベルを引き上げるためには、継続することが必要。大谷先生をはじめ、多くの方が支援している東日本大震災や熊本大震災の復興支援活動。続けていくことに価値があると改めて考えさせられる便教会でした。

**できる人が できる時に できることをする**

この気持ちで、今後も続けていきたいと思えます。(小笹大道)

